

経営比較分析表（令和元年度決算）

福岡県 八海市

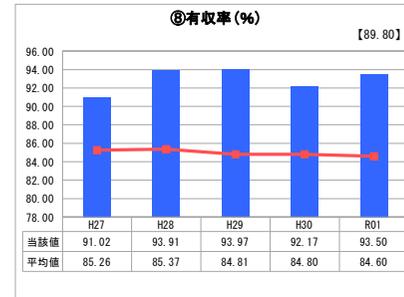
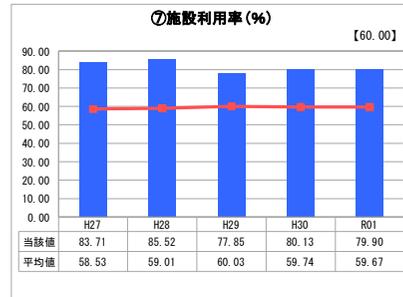
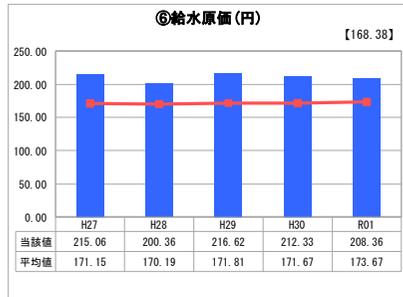
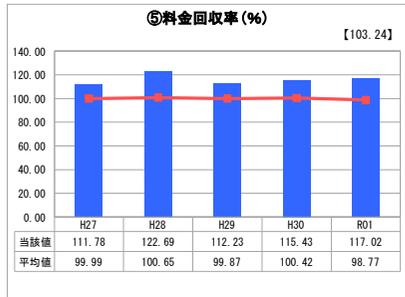
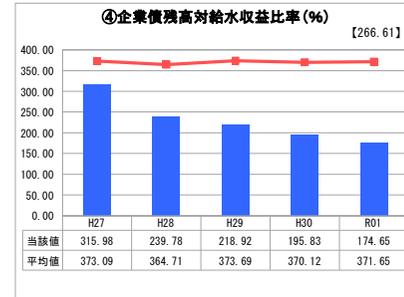
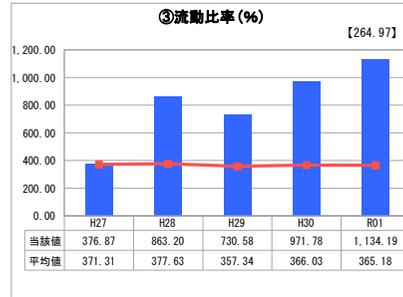
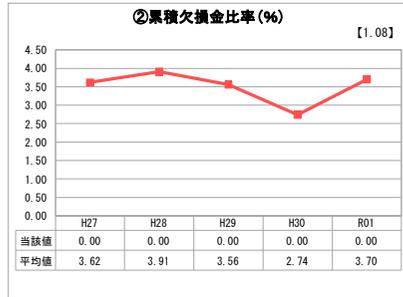
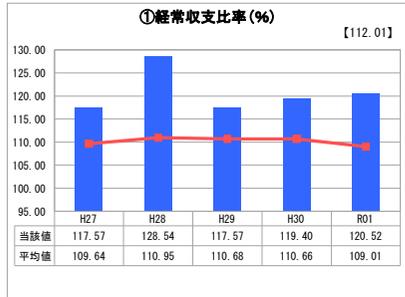
業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.09	57.85	4,590	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,816	482.44	130.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
36,087	42.44	850.31

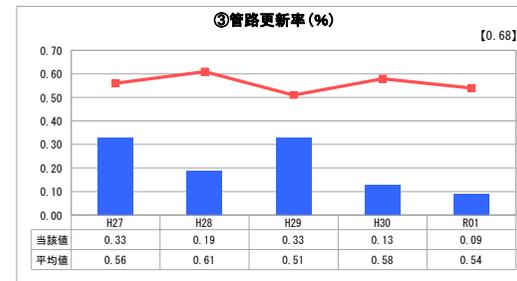
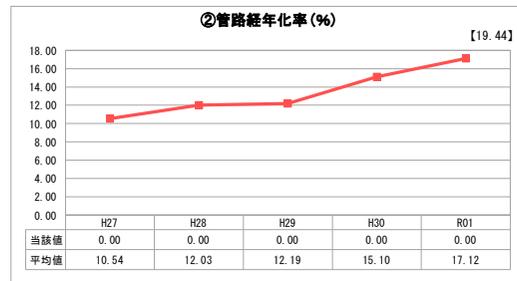
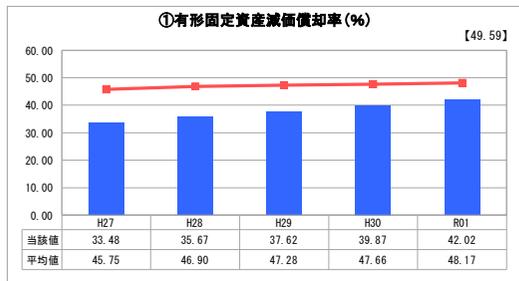
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、⑤ 料金回収率について
 ・R1年度は人員減やメーター取替件数が少なかったため、費用が減少している。また、給水収益も増加したことからR1年度は前年度該当値より増加している。
 ③ 流動比率について
 ・本市においては、年度末時点の未払金の残高によって大きく数値が変動しているが、次年度の4月中には支払っているため問題ないと考えられる。
 ④ 企業債残高対給水収益比率について
 ・H23年度以降新たな起債がなく、企業債残高が年々減少しているため、当該値もそれに比例し減少している。しかし、R2年度より4年間水道拡張事業を予定しており、新たな起債借入を要するため、引き続き給水収益確保が必要となる。
 ⑧ 有収率について
 ・全国平均と比べても数値が高く、供給した配水量の無駄が少なく上手く収益につながっていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

・事業開始から日が浅いため、法定耐用年数を過ぎた管路はなく、①有形固定資産減価償却率及び③管路更新率は類似団体平均値と比べ、低い数値を示している。

全体総括

毎年経常収支比率が100%を上回り、現在の経営状態は良好だと考えられる。しかし、今後懸念される人口減少による給水収益の減少や、R2年度の簡易水道との事業統合によりその管路更新費用の確保、その他、「2. 老朽化の状況について」にもあるように、水道事業は開始から日が浅いため、10年、20年後の管路更新時期に係る費用などの負担を、次世代に先送りしないためにも、利益を蓄えていくことが必要である。